

各推進方策の検討方法

現行プラン

第2期京都府教育振興プランにおける
目標・施策

京都府の教育をめぐる現状

各施策の取組状況・
成果と課題

社会の変化等 考慮すべき事象

社会情勢・国や府の動向・
新たな教育課題 等

3つの検討要素を踏まえて、各推進方策について意見交換いただく

推進方策1「豊かな学びの創造と確かな学力の育成」 御意見いただきたいポイント

- ①人口減少による「担い手不足」や技術革新による「産業構造の変化」などが進む中で、京都を支える人材を育むための学校の取組について
- ②デジタル時代において、身に付けるべき力やどのような教育を目指すべきか（デジタルとリアルのバランス など）
- ③一人一人の可能性を最大限のばすにはどのような教育が求められるか（「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現）
- ④自ら問いを見つけ、課題解決能力などを育む「探究的な学び」をさらに発展させていくために今後必要なことについて
- ⑤グローバル化が進む社会において、求められる力や人材について
- ⑥これからの府立高校が大切にすべきことは何か（求められるもの、役割、地域との関わり方 など）